

もやすぐみ処理施設整備調査特別委員会



施設整備基本構想に係るサウンディング調査結果の報告を受け、今後の調査ポイントを確認した。

※サウンディング調査とは…地方公共団体が、事業の検討段階で民間事業者から意見や提案を募り、事業の実現可能性を把握する手法。

【報告の概要】

◎施設新設に関する調査結果として、プラントメーカー5社から発電を主とした余熱利用や、建屋最小化等のコスト削減策などについての提案があった。

◎企業誘致に関する調査結果として、廃棄物処理を行う事業者1社から一般廃棄物と産業廃棄物を合わせて処理する施設整備などについての提案があった。

【主な質疑】

問 建設費が安く、ゼロカーボンにも寄与する「トンネルコンポスト方式」を検討すべきではないか。

答 システムとしては非常に優れているが、処理規模に見合う土地の面積が足りない、原料の供給先が見通せないといった課題がある。また、企業からの応募もなく、検討は難しい。

問 企業誘致案は1炉構成だが、



三原市清掃工場

故障時に完全に止めないと修理できず、安定継続という最も大事なところが欠けている。公設の場合は2炉が適切ではないか。

答 故障させない運用が前提だが、故障時は産業廃棄物の受入れを一時ストップし、十分な容量のピットに一般廃棄物をため続けるほか、企業の処理場への搬送により、処理を継続できる体制を想定しているなど、企業が持つノウハウにより、1炉構成で対応可能であると聞いている。

「ハラスメント防止研修会」を開催

令和7年11月17日、キャリアフォーカス代表の棚田 里美さんを招き『「知らなかった」をなくす～イマドキのハラスメント防止～』について研修を行いました。

①ハラスメントの基礎知識

他人に対する発言や行動などが、本人の意図には関係なく、相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたり、不利益をあたえたり、脅威を与えること。

②アンコンシャスバイアス（無意識の思い込み）に気づく

男女を問わず個人の能力等によって役割の分担を決めることが適当であるにも関わらず、「男は仕事・女は家庭」の考え方はハラスメント行為につながる。

③ケーススタディでハラスメントを考える

議員間、議員と理事者とのやり取りにおいて、ハラスメントはないか。

議員同士のグループワークの中で、パワハラ意識度チェック・NGワードを使っていないか等のチェックをしてみて、人権意識を持って議員活動をしていくことを確認しました。

